

# 第37回定時株主総会 事業報告

株式会社メイテック

〒107-0052

東京都港区赤坂8-5-26 赤坂DSビル

TEL 03-5413-2600 FAX 03-5413-2622

URL : <http://www.meitec.co.jp>

## I . 連結業績の概況

## <業績【連結】：2010年3月期>

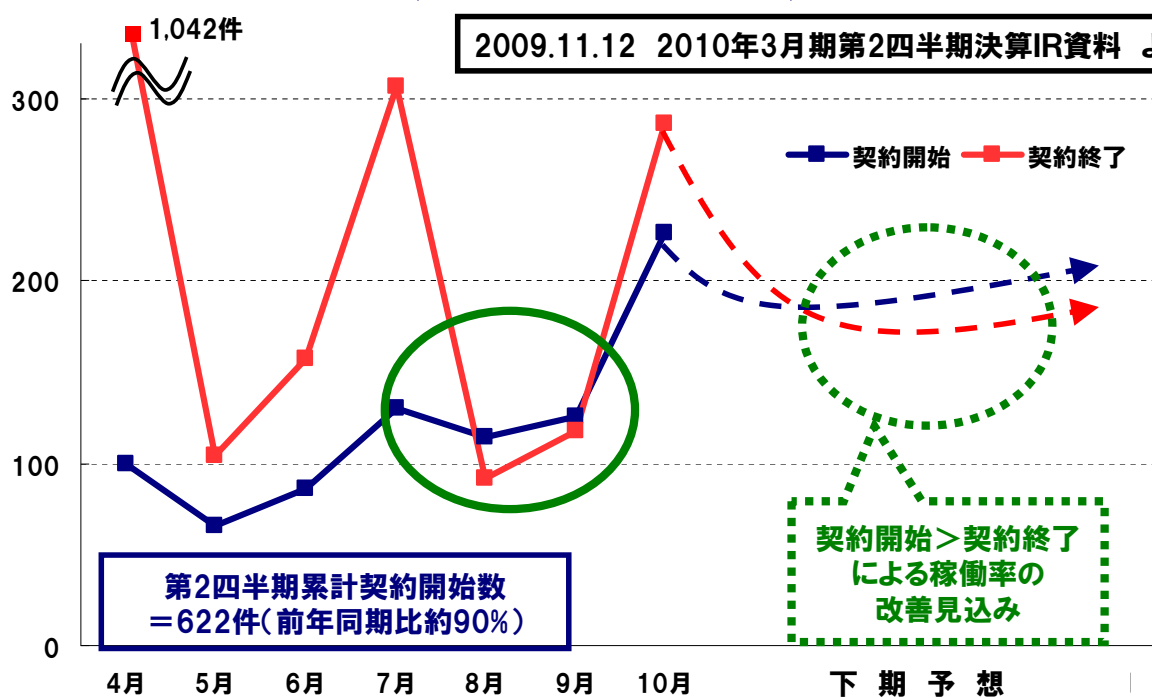
(単位:百万円)		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	実績	53,776	△ 4,928	△ 276	△ 904
	前期実績	79,898	9,280	9,260	4,303
	対前期比増減率	△32.7%	-	-	-
単体	実績	41,319	△ 2,964	822	53
	前期実績	60,457	8,807	9,294	2,998
	対前期比増減率	△31.7%	-	△91.2%	△98.2%

### <参考/業績予想>

(単位:百万円)		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2010年2月12日 予想修正	連結	52,500	△ 5,800	△ 800	△ 1,200
	単体	40,500	△ 3,500	400	△ 200

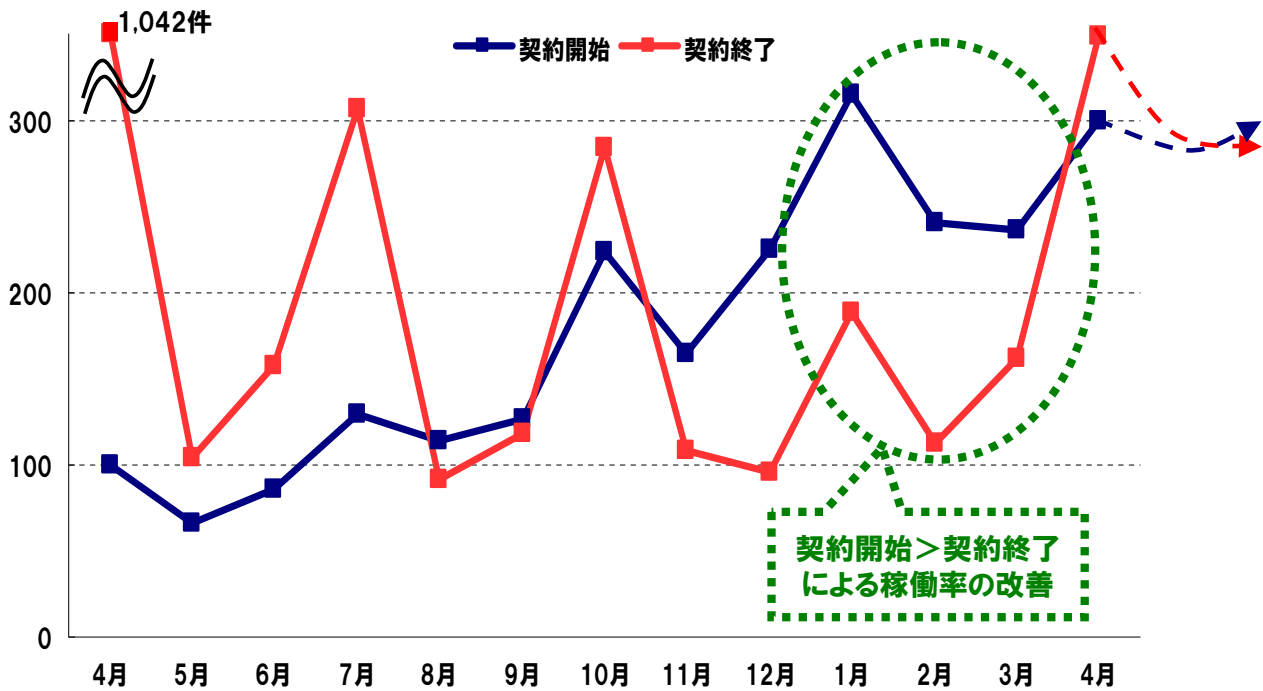
2

## <契約実績推移【MT単体】：2010年3月期 第2四半期累計 (想定したシナリオ)>



3

## < 契約実績推移【MT単体】：2010年3月期 >



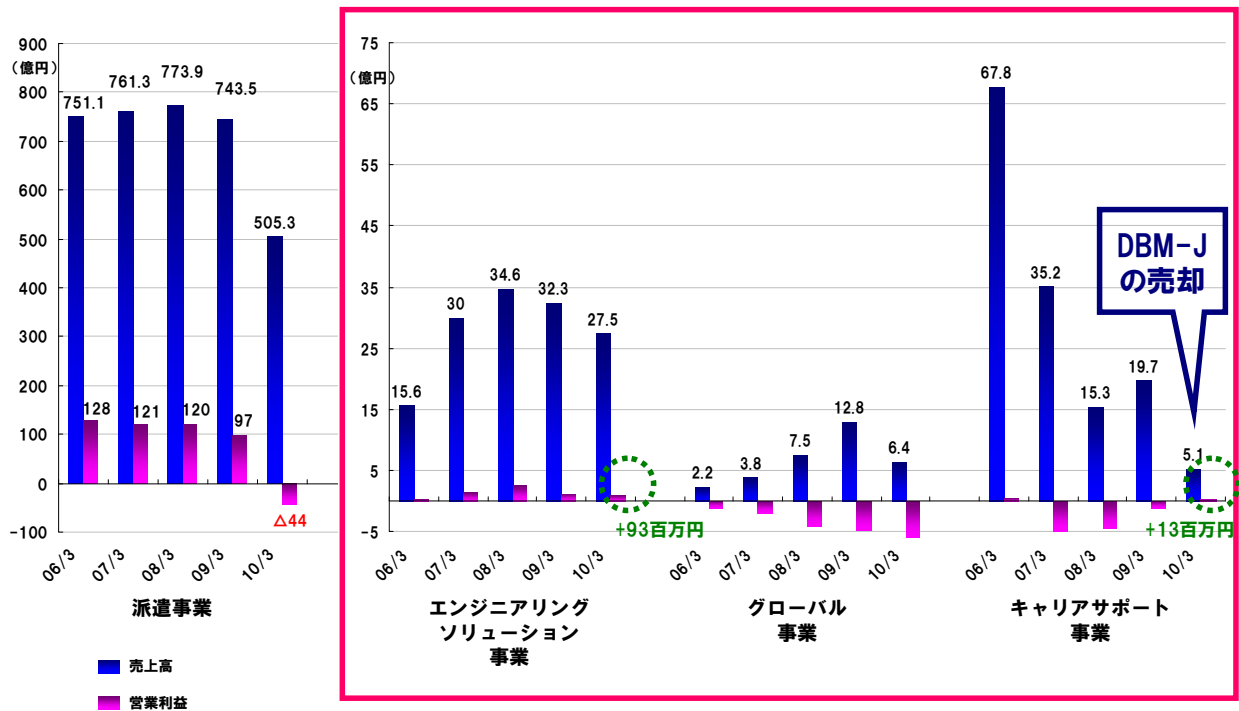
4

## < 「底」からの改善状況 >

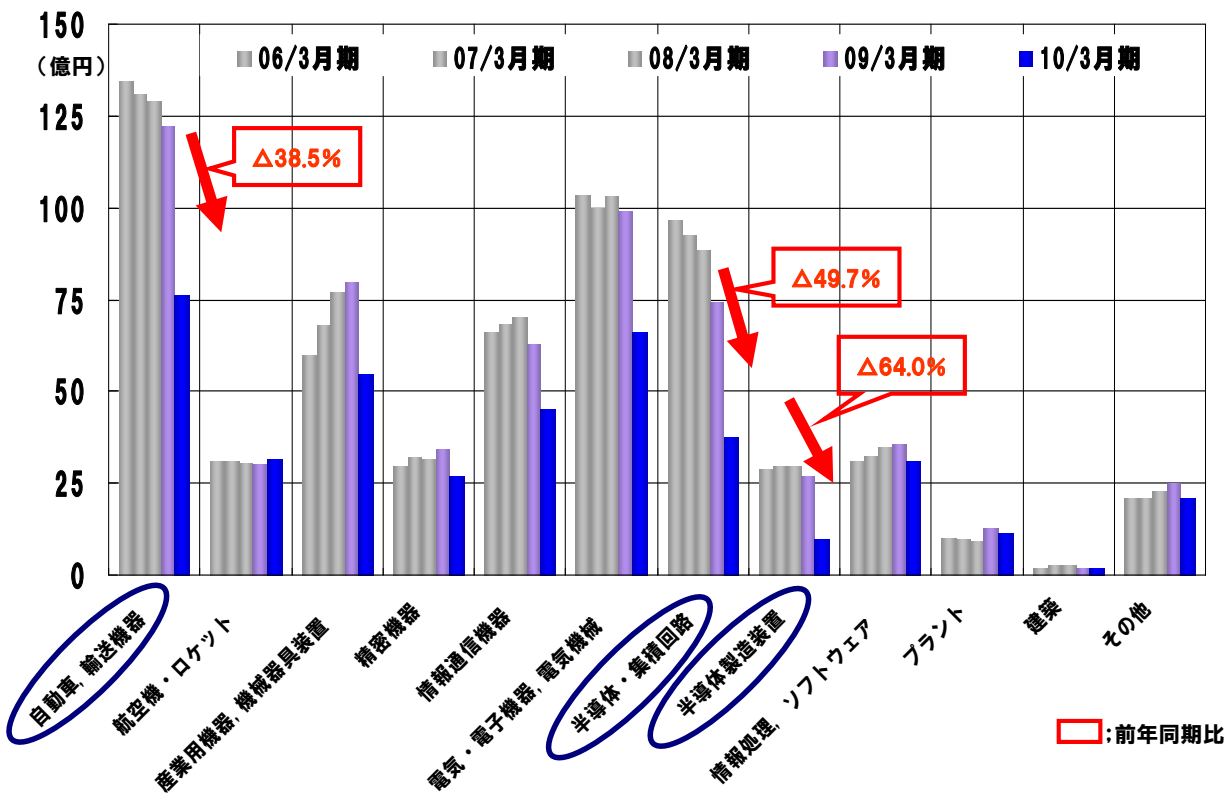
MT単体	2009年8月度 (底)	2010年3月度	改善度
全社稼働率	67.1%	78.6%	+ 11.5
稼働時間	8.12h/日	8.86h/日	+ 0.74

5

## <メイテックグループの4事業：2010年3月期>



## <セグメント別売上高推移【MT単体】：2010年3月期>



## <トップ10顧客売上高・比率推移【MT単体】：2010年3月期>

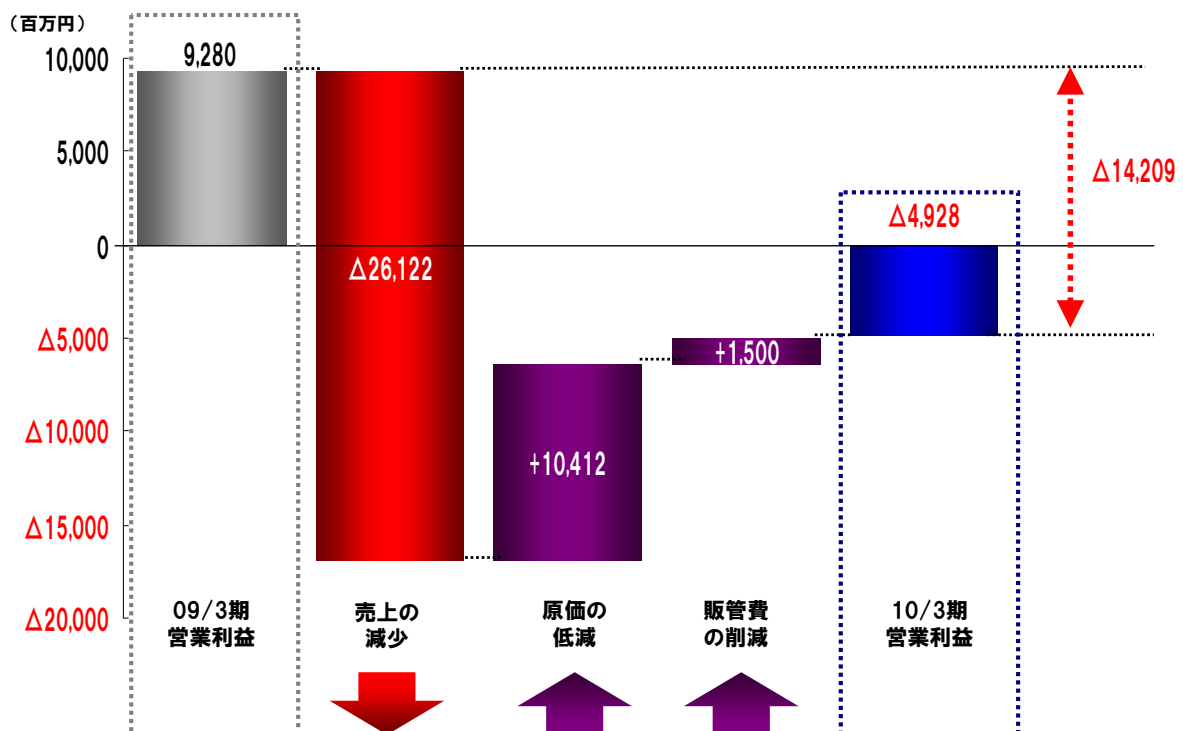
<5年前>

<現在> (百万円)

2005年3月期(32期)			2009年3月期(36期)			2010年3月期(37期)		
顧客企業名			顧客企業名			顧客企業名		
1	パナソニック 様		1	パナソニック 様		1	パナソニック 様	
2	ソニー 様		2	キヤノン 様		2	三菱重工業 様	
3	トヨタ自動車 様		3	ソニー 様		3	キヤノン 様	
4	キヤノン 様		4	三菱重工業 様		4	ソニー 様	
5	三菱重工業 様		5	デンソー 様		5	トヨタ自動車 様	
6	セイコーエプソン 様		6	ニコン 様		6	デンソー 様	
7	ニコン 様		7	オムロン 様		7	ニコン 様	
8	オムロン 様		8	トヨタ自動車 様		8	川崎重工業	
9	川崎重工業 様		9	セイコーエプソン 様		9	セイコーエプソン 様	
10	ソニーイーエムシーエス 様		10	矢崎部品 様		10	オムロン 様	
トップ10社合計	21,909	35.9%	トップ10社合計	20,610	34.1%	トップ10社合計	14,826	35.9%
トップ20社合計	29,050	47.5%	トップ20社合計	27,096	44.8%	トップ20社合計	19,281	46.7%
その他	32,059	52.5%	その他	33,361	55.2%	その他	22,039	53.3%
合計	61,109	100.0%	合計	60,457	100.0%	合計	41,319	100.0%

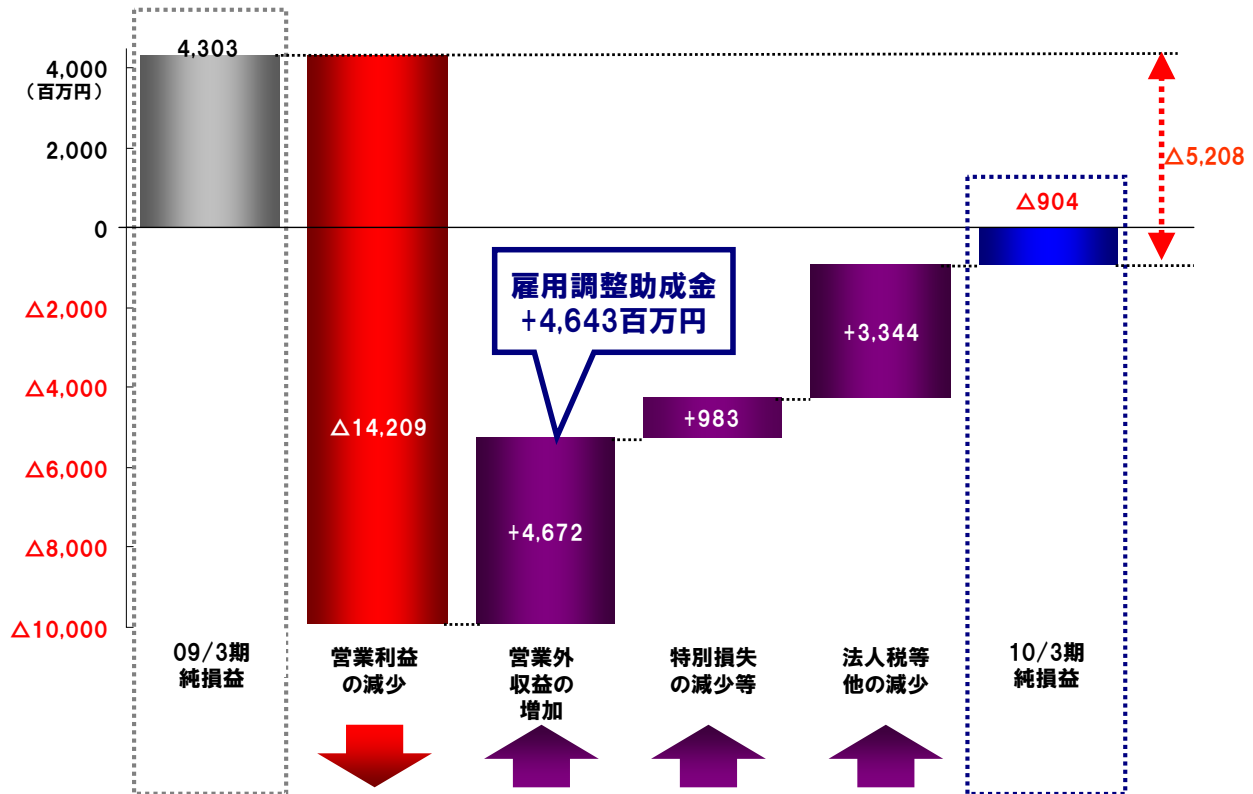
8

## <営業損益前年同期比較【連結】：2010年3月期>



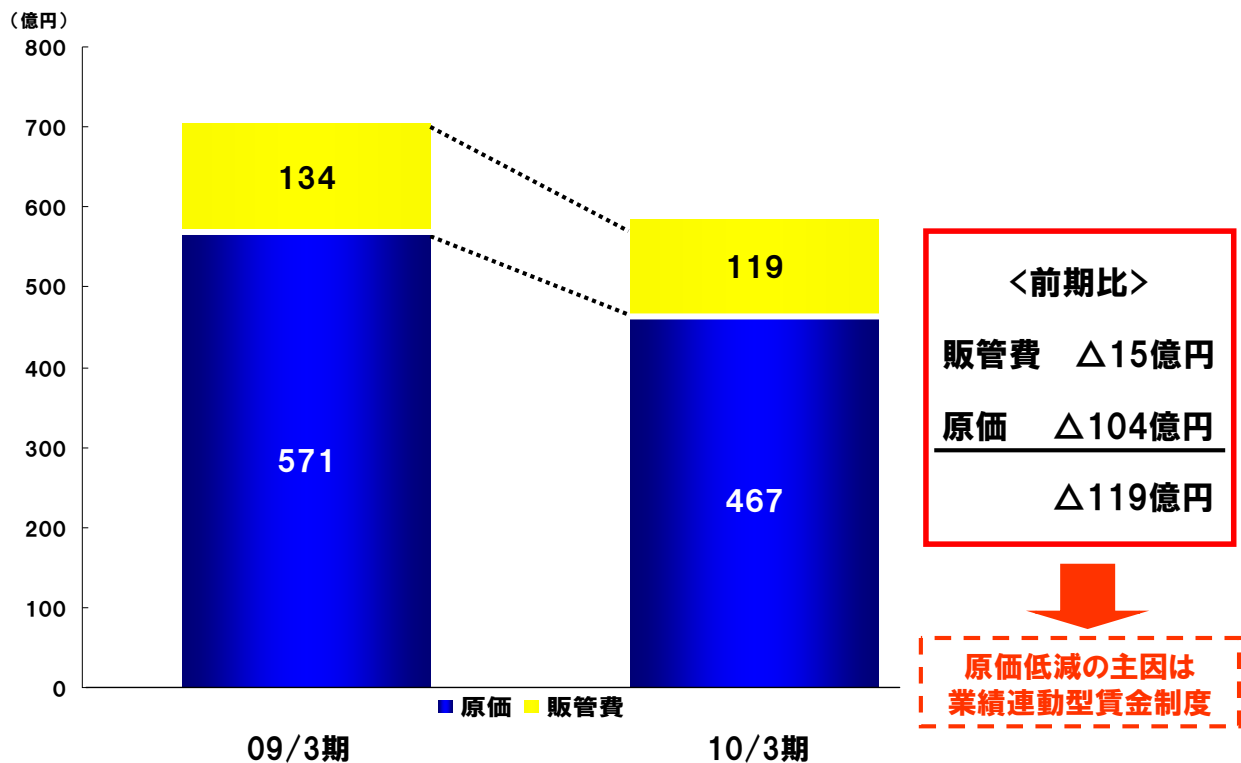
9

## <当期純損益前年同期比較【連結】：2010年3月期>



10

## <コスト構造推移【連結】：2010年3月期>

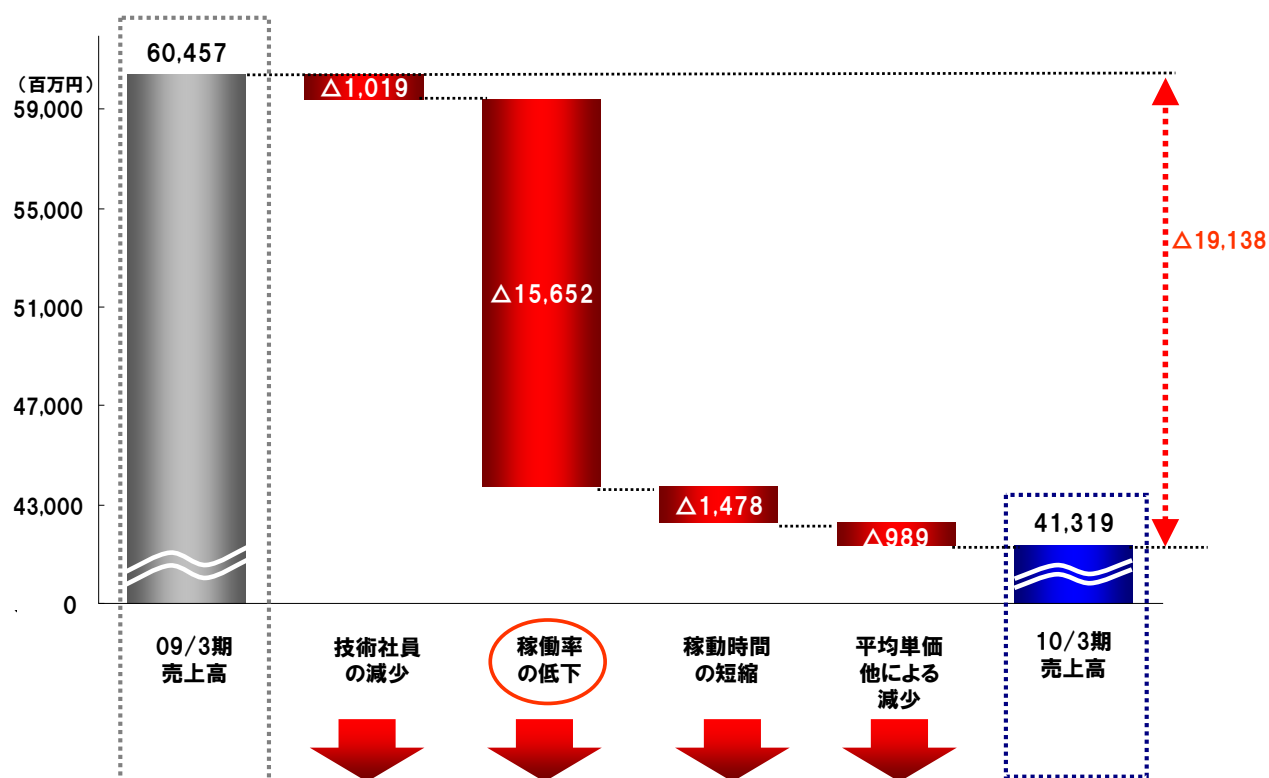


11

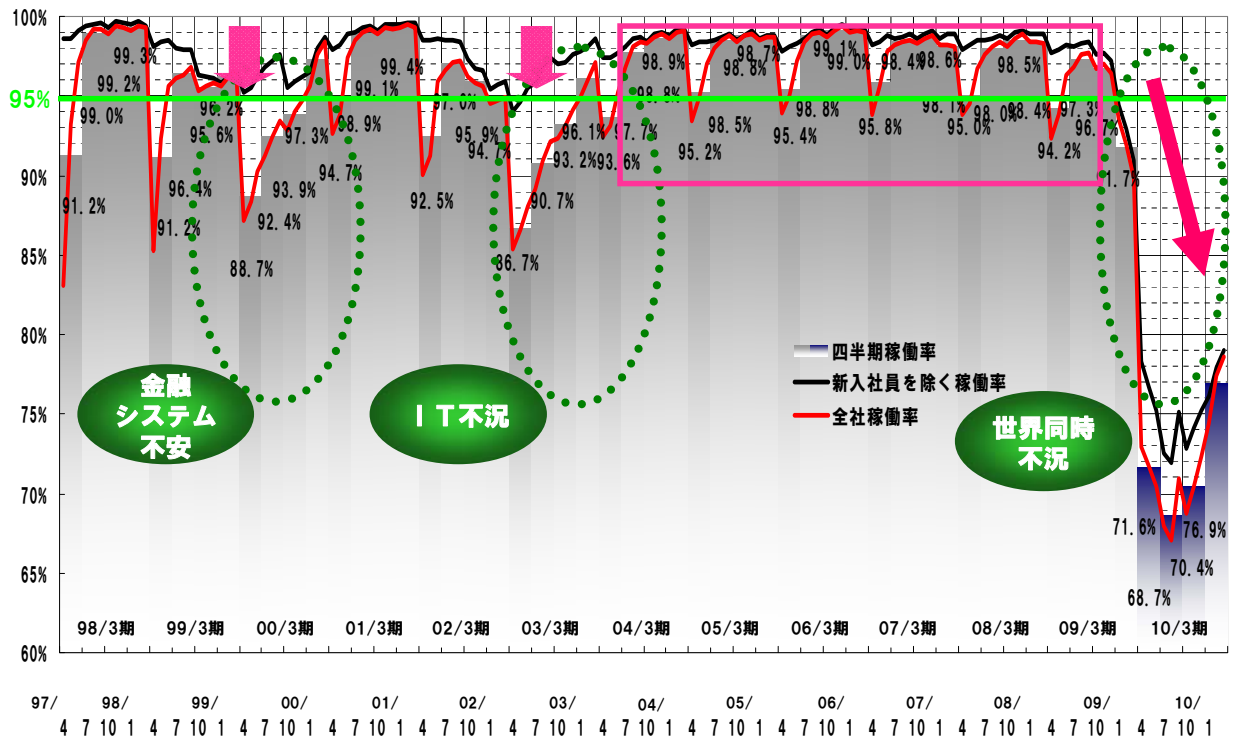
## Ⅱ.単体業績の概況

### 主力の技術者派遣事業の動向

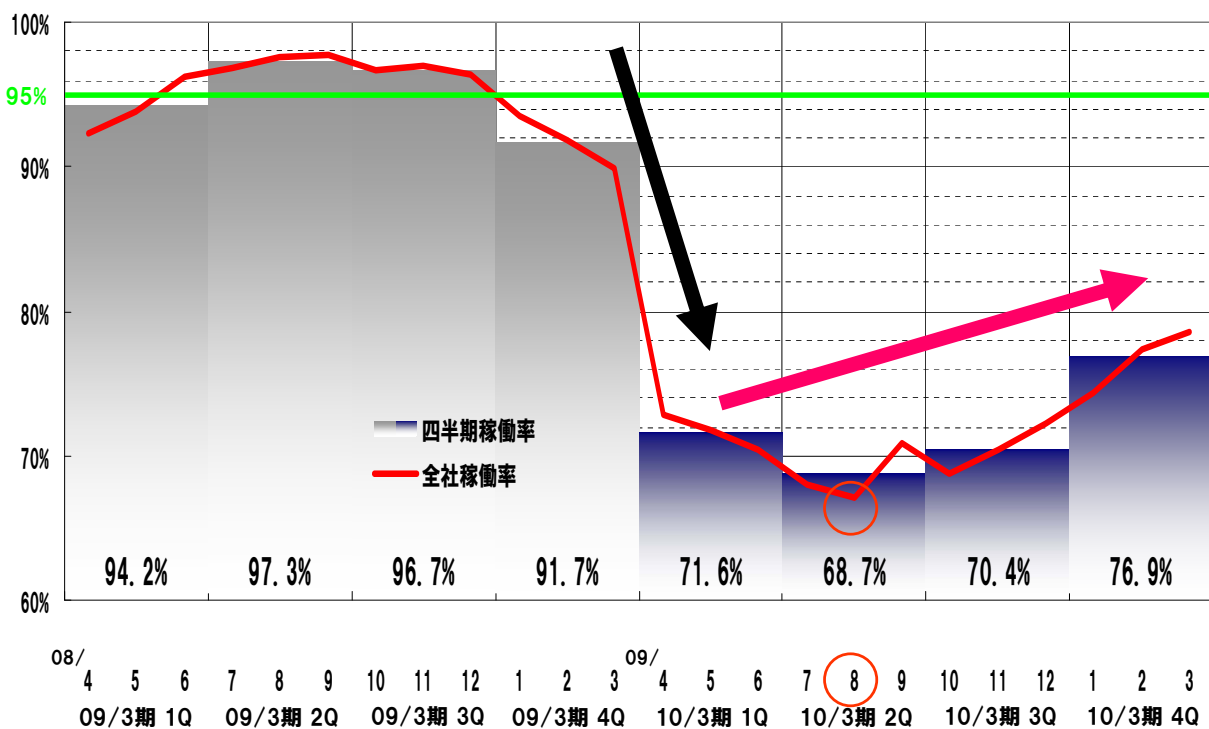
#### <売上高前年同期比較【MT単体】：2010年3月期>



## <稼働率推移【MT単体】>

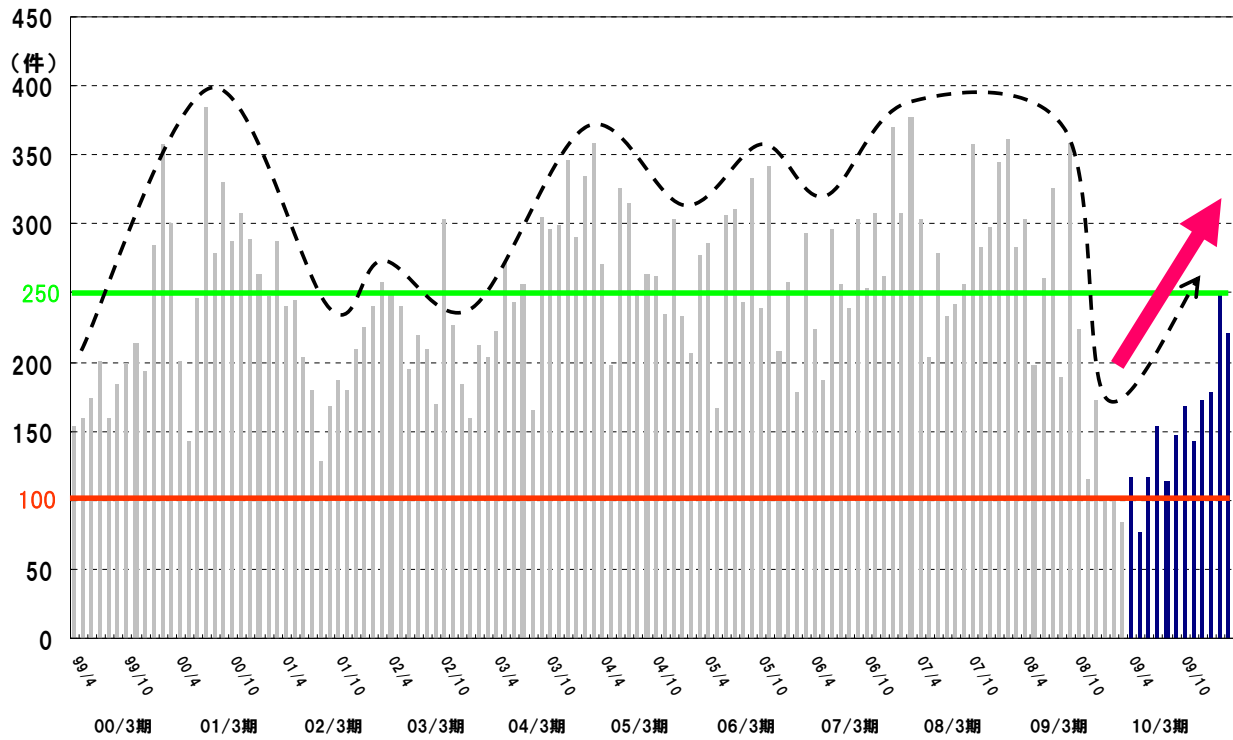


## <稼働率推移【MT単体】08/4~>

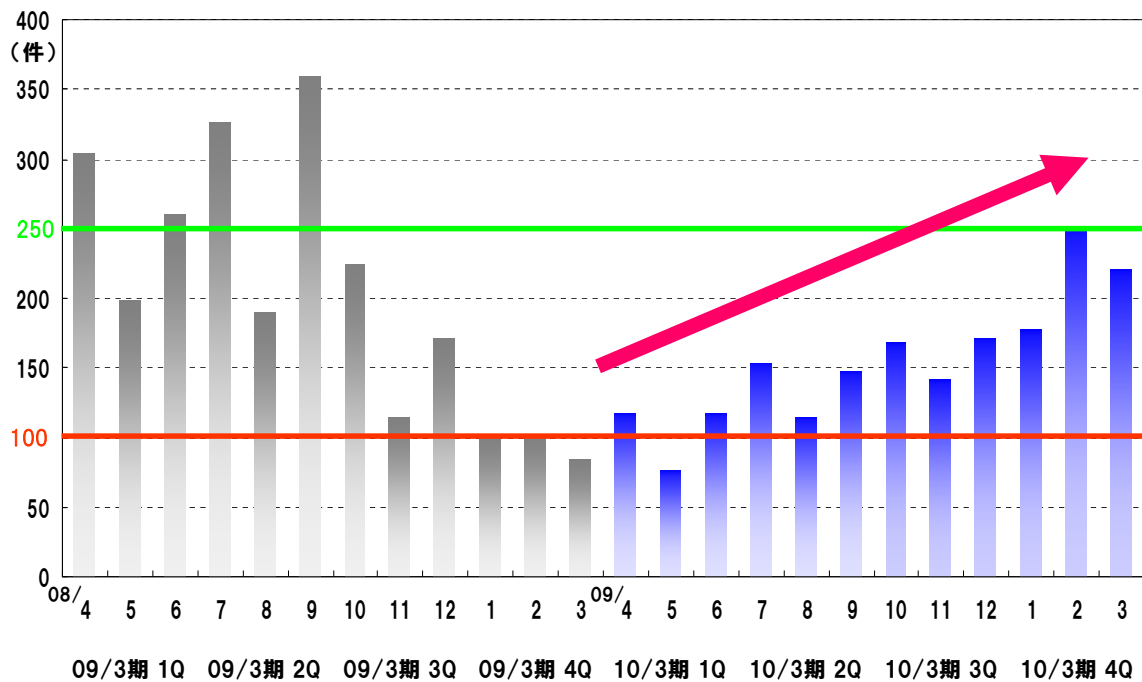




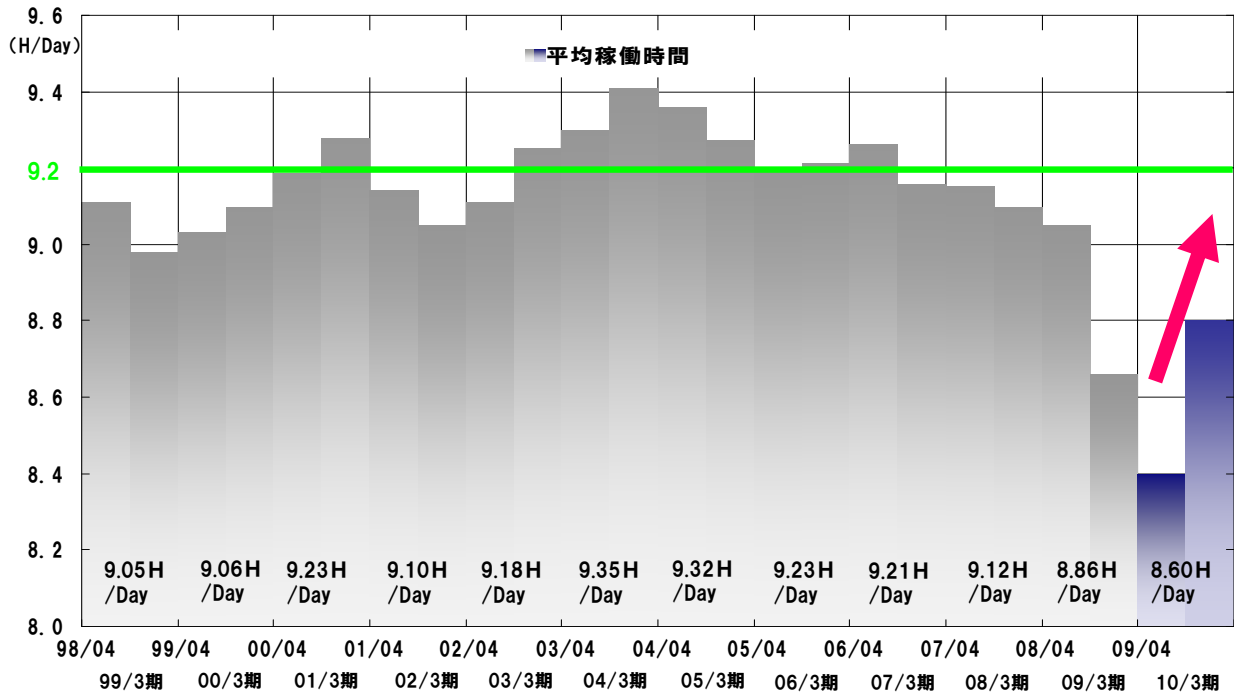
## <月間新規受注推移【MT単体】>



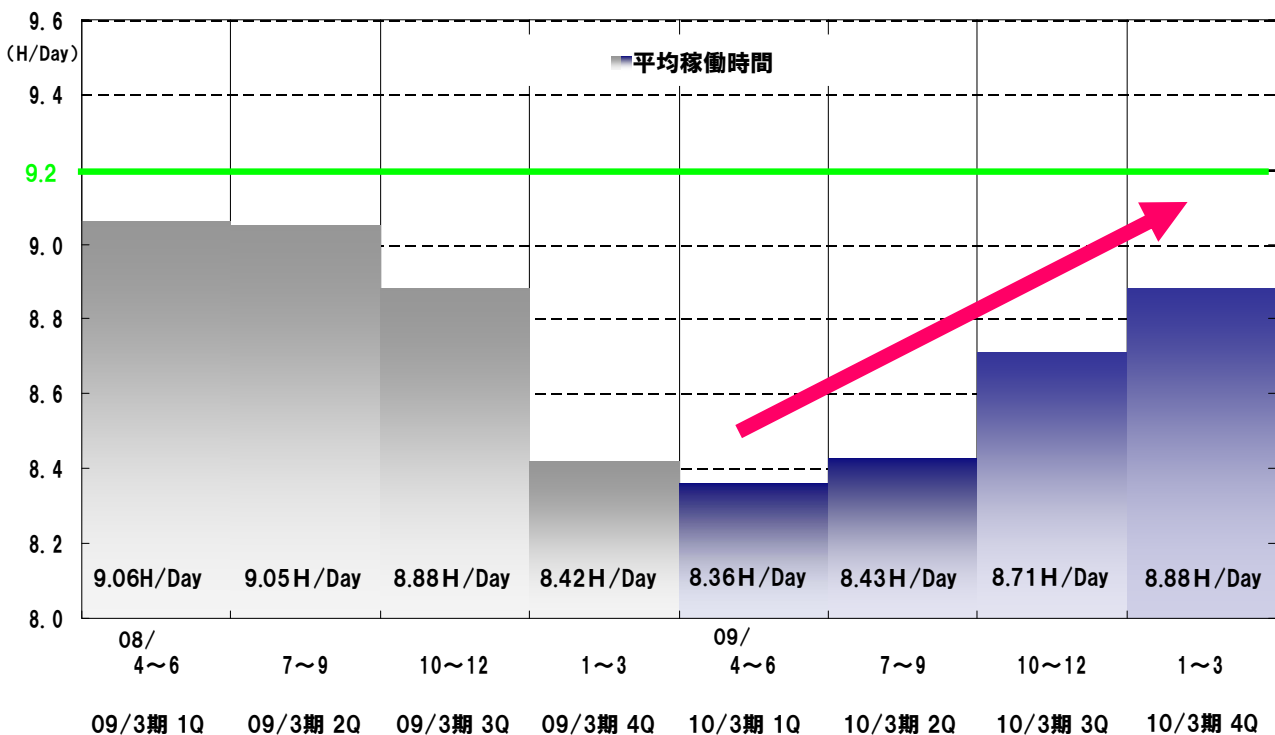
## <月間新規受注推移【MT単体】08/4~>



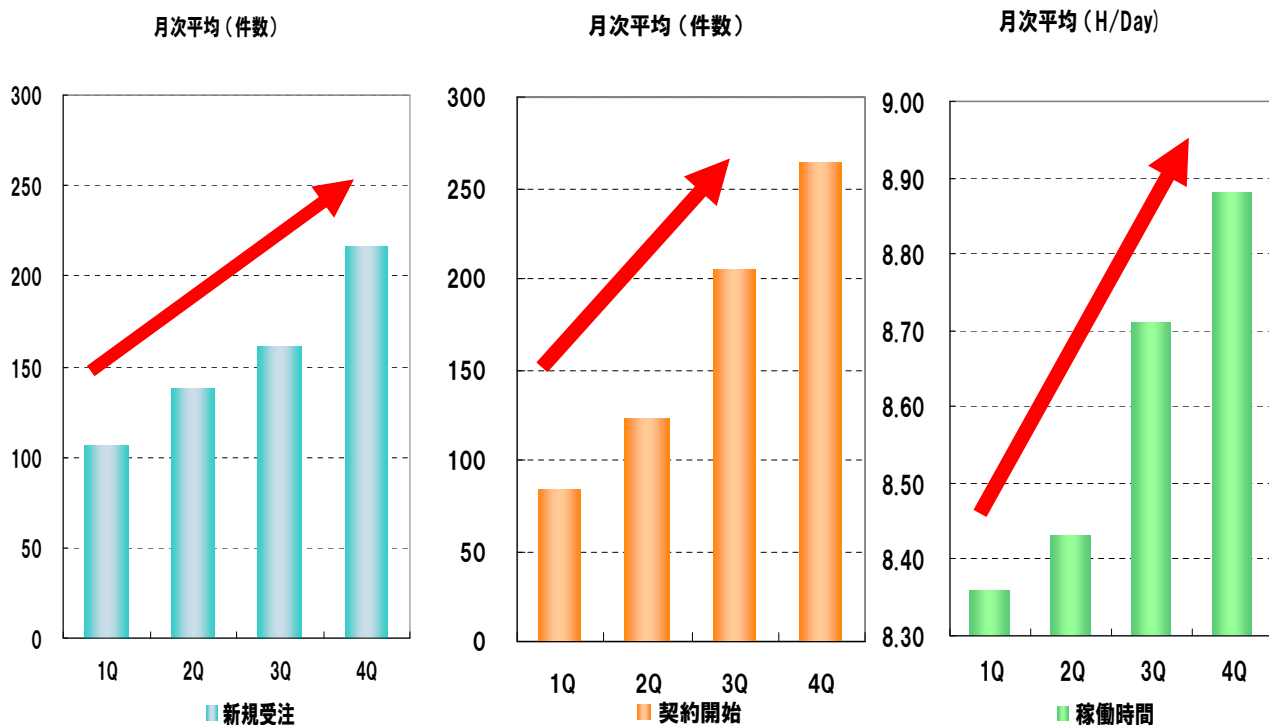
## <稼働時間推移【MT単体】>



## <稼働時間推移【MT単体】08/4~>



## <【MT単体】：2010年3月期の推移> - 受注・契約・稼働時間 -



## Ⅲ. 業績予想

## <経営方針と経営目標：2011年3月期>

### 1. グループ経営方針：「自立的な企業存続を達成する」

→雇用調整助成金(公的資金)に依拠することなく、  
事業継続ができる体制を構築する

### 2. グループ経営目標：「通期営業黒字の達成」

→メイテック単体・連結ともに通期営業黒字を達成する

\*経営合理化施策(2010年2月23日公表):最大で28.8億円のコスト削減の取り組み

## <業績予想：2011年3月期>

(百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	第2四半期累計	27,000	0	1,800	1,000
	前期実績	26,203	△3,248	△850	△1,214
	対前期比増減率	3.0%	—	—	—
	通期	55,000	100	3,400	1,900
	前期実績	53,776	△4,928	△276	△904
	対前期比増減率	2.3%	—	—	—
単体	第2四半期累計	21,000	0	1,500	800
	前期実績	20,097	△1,931	109	31
	対前期比増減率	4.5%	—	1276.1%	2480.6%
	通期	43,000	0	2,800	1,600
	前期実績	41,319	△2,964	822	53
	対前期比増減率	4.1%	—	240.6%	2918.9%

## <業績予想の注記：2011年3月期>

- 2011年3月期におけるメイテックグループの経営方針は、「自立的な企業存続を達成する」こと、並びに経営目標を「通期営業黒字の達成（連結・単体・各社）」と定め、当該目標等を達成するために、経営合理化施策を労使合意に基づき実施しています
- なお、現時点の想定を超えて業績が伸長し、公表予想を上回る売上高が確保される場合においても、営業利益が公表予想と同水準に着地する可能性があります  
具体的には労使協議等を要する予定ですが、公表予想を上回る売上高に伴い発現が見込まれる営業利益の上ブレ部分は、下記に記載の社員の賞与、賃金等の減額補填等へ優先して充当する予定です

経営合理化施策の内容及び費用削減効果見込額

(単位:億円)	費用削減効果見込額(年間)	
	連結	単体
役員報酬の減額・返上、監査役報酬の自主返上	0.4	0.4
執行役員・管理職(非組合員)賃金の減額	1.9	1.6
一般社員(組合員)の手当・賞与等の減額	26.5	16.5
合計	28.8	18.5

## <配当予想：2011年3月期>

(基準日)	1株あたり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
当期予想 (2011年3月期)		0円00銭		0円00銭	0円00銭
前期実績 (2010年3月期)		24円50銭		0円00銭	24円50銭

・現時点では、雇用調整助成金および経営合理化施策による費用削減効果見込み額を除外した場合の連結キャッシュ・ポジションは、必要運転資金を自力で確保できる状況には無いと判断し、誠に遺憾ではありますが、2011年3月期の配当予想は無配とさせていただきます。

・但し、2011年3月期において、P.28「業績予想の注記」に記載した通り、社員の賞与、賃金等の減額補填等へ優先充当した後においても営業利益が確保できる場合は、当該営業利益に即した期末配当を検討する予定です。

人と技術で次代を拓く

**MEITEC**

メイテックグループ